

ここ二宮にも路傍や辻に多くの石仏が残されています。

多岐にわたっています。ここでは二宮町の南側に残された刻像の三猿を刻んだ庚申塔などを散策のおともに選んでみました。

して集落の境、村内、外の境界、道の辻や三叉路に石像や石

の形は、像が彫られたものや文字が刻まれたものなど様々で
る・聞かざる」の三猿を刻んだものが多く見られます。

びますが、「社」には土地の神の意があり、農家は地神講中を
候の神に祈る風習がありました。大きな自然石に手を加えず
す。

⑧入川勾辻

道祖神 造立年不明
舟型の双体像ほか



⑨二見家入口際

道祖神 造立年不明
舟型の双体像



⑩西光寺境内

道祖神 1993 年
(平成 5 年)
自然石の双体像



⑪袖切地蔵前

道祖神 1836 年
(天保 7 年)
石祠



⑫字御嶽下

庚申塔 角柱
1817 年 (文化 14 年)
青面金剛・三猿
「文化十四丁丑年」
「三月吉祥日」
「願主川勾村中」
地神塔 造立年不明
自然石 「社稷神」



⑬峠公園内

庚申塔 造立年不明
舟型の青面金剛
道祖神 造立年不明
舟型の単体像



⑭ふたみ記念館うら

道祖神 造立年不明
舟型の双体像
五輪塔ほか



⑮軒吉交差点際

地神塔 1835 年 (天保 6 年)
自然石
「天保六乙未年」「地神社」
「八月吉日」
道祖神 造立年不明

⑯中里歩道橋下

地神塔 1827 年 (文政 10 年)
自然石
「文政龍舎丁亥」
「堅牢地神社」
「二月吉日講中」

⑰明星神社境内

庚申塔 造立年不明
笠付・青面金剛・三猿
地神塔 1846 年 (弘化 3 年)
自然石
「弘化三年」「地神社」
「午二月吉日講中」

⑱西の前路傍

地神塔 造立年不明
自然石
「地神社」

⑲妙見神社下

道祖神 1786 年 (天明 6 年)
舟型の双体像
道祖神 造立年不明
石棒ほか

⑳龍澤寺境内

道祖神 造立年不明
舟型の双体像
庚申塔 1681 年 (天和元年)
板碑・三猿
「天和元年辛酉年」
「祀三世不可得心」
「十一月十一日」ほか

㉑妙見路傍

地神塔 1822 年 (文政 5 年)
自然石
「文政五年歳」「地神社」
「二月吉祥日 講中」
台座に「左かないみち」

㉒元町河原の地藏



地藏尊 造立年不明 (首が欠落)
道標付地藏尊 1779 年 (安永 8 年) 台石に「大山・小田
原・大磯」と刻んであります。
月待塔 月待ちとは人々が集まって飲食をしながら月の
出を待つ行事です。右から 5 基目は上部が破損していま
すが、三夜の題字がわずかに見えることから、二十三夜
塔または十三夜塔と考えられます。

一番右側の由緒碑に「この地藏さまは、大山道の道標として河原橋のたもとに
ありましたが道路改修のためこの場所へ安置されたものである・・・」と書か
れています。右うしろに細い橋が二本架かっていますが上流側を「河原橋」下
流側は建物の陰になりますが「倉田橋」と言います。かつてこの辺りは河川が
湾曲して河原状になっていました。新編相模風土記には「葛川には倉田橋が架
かっていた。この辺りは交通の中心地で、小田原に通じると共に、曾屋街道、
大山道、大磯道の分岐点となっていた・・・」とあります。



㉓原田道入口

道祖神 1740 年 (元文 5 年)
石祠内 双体像



㉔二宮中学校下

庚申塔 1721 年 (享保 6 年)
板碑の三猿と二鶏
「奉造立庚申石塔供養為現當二世」
「享保第六辛丑天施主」
「二月吉旦日 敬白」

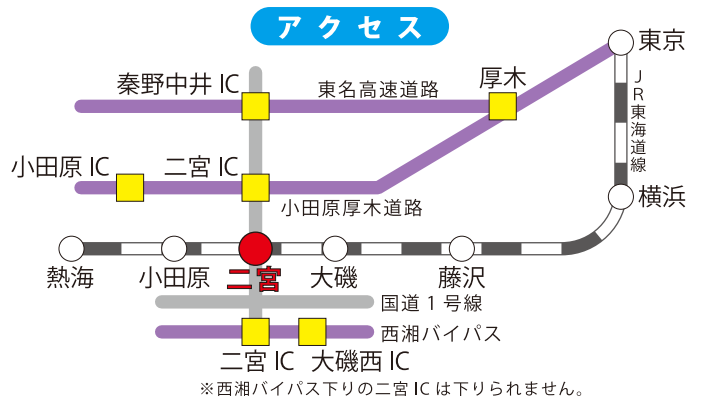


㉕役場下辻

道祖神 1936 年 (昭和 11 年)
兜巾型の文字碑
道祖神 造立年不明
舟型の双体像

インフォメーション ※市外局番 0463

二宮町役場	71-3311	二宮町商工会	71-1082
二宮町民センター	71-0141	二宮町商店連合協同組合	71-9966
二宮町生涯学習センター(ラディアン)	72-6911	大磯二宮漁業協同組合	61-0940
二宮町図書館	72-6913	湘南農協二宮町支店	73-1414
二宮町民温水プール	72-6030	川勾神社	71-0709
吾妻山公園管理事務所	72-3611	ふたみ記念館 (美術館)	70-3210
二宮果樹公園管理事務所	72-1203	徳富蘇峰記念館	71-0266
せせらぎ公園管理室	72-6112	神奈中タクシー二宮営業所	71-0970



お問い合わせ

☎二宮町観光協会

〒259-0123 神奈川県中郡二宮町二宮 961-26 町民センター内
TEL：0463-73-1208

HP：http://shonan-ninomiya-kankou.com

編集・発行 二宮町観光協会 2023.2 改訂
この印刷物の全部または一部を無断で複製使用する事を禁じます。



かつて人々の生活に深くかかわっていた石仏・・・
道祖神・庚申塔・地神塔・馬頭観音・石祠などその種類は
可愛らしい双体道祖神、自然石に文字が彫られた地神塔、

道の守り神、子孫繁栄、交通安全、厄病払いの神と
碑の形で祀られています。

庚申信仰に基づいて建てられた石塔を言います。そ
すが、干支の「甲」を「猿」に例えて「見ざる・言わざ

春、秋の彼岸の日に最も近い「戌」の日を「社日」と呼
作って、春は豊作を、秋は豊作への感謝を大地や天
「天社神」「地神社」「社稷神」と彫られ、祀られていま



①吾妻神社境内
庚申塔 1691 年 (元禄 4 年)
笠付・三猿
「汝等前行は菩薩道」
「漸々修學悉當成佛」
「奉新造立庚申供養四面塔祈願」
「成就所」
「相易海綾郡梅沢村 元禄四辛未天九月上旬」



②神明社境内
道録神 1935 年 (昭和 10 年)
兜巾型の文字碑ほか



③小澤観音堂
地神塔 1845 年 (弘化 2 年)
自然石
「弘化二年」「地神社」
道祖神・五輪塔ほか



④越地の辻
地神塔 1802 年 (享和 2 年)
自然石
「享和二壬戌二〇」
「天社神 講中」
道祖神ほか



⑤筋間家 (個人住宅)
地神塔 造立年不明
自然石
「地神社」



⑥茶屋薬師堂
庚申塔 1718 年 (享保 3 年)
笠付・三猿
「奉造立庚申供養塔」「国家安全」
「□享保三戌相州梅沢村 戌二月吉日」
道祖神ほか



⑦茶屋旧道の路傍
道祖神 1752 年 (宝暦 2 年)
駒型の双体像





ご注意!
一般車は、北口駅前
ロータリー内への進入
ができません。

町営第1駐車場 (8:30~19:00)
1台 500円
カーナビへの入力は
...二宮町生涯学習センター
「二宮町二宮1240-10」



*** 散策時のお願い ***

- ・交通ルールを守って歩きましょう。
- ・花や草木、自然を大切にしましょう。
- ・ゴミは各自で持ち帰りましょう。

ポイ捨て厳禁!



- 凡 例
-  バス停
 -  トイレ
 -  菜の花
 -  桜
 -  梅



0m 500m 1000m